

椿を活用した五島市の地域活性化

椿を楽しみ健康な長寿を実践しよう!!



日本の離島、過疎地域の共通した課題

- 一次産業の低迷とTPP加入の問題
- 次代の産業の育成に課題がある
- 人口の減少と高齢化
- 医療、福祉などの財政への圧迫
- 山林の荒廃、休耕田の増加による環境汚染地の拡大、鳥獣被害の増加

2011年新年の国民意識調査

- 将来の生活への不安 (各紙の世論調査の68%)
 - 年金給付の不安
 - 経済の見通しへの不安
 - 政治と財政の不安
 - 健康への不安
- 不安の解消は行動から

世界が見ている日本の対応

- 技術大国、経済大国から高齡化社会
- 高齡化社会への対応
- 長寿国家と医療政策
- 経済力の維持方法と低下に対する対応
- 環境技術立国としての期待

政治的解決よりも、国民の意識の改革が求められている

未利用資源有効活用研究センター

設立 2010年11月1日京都工芸繊維大学

- 目的
- 日本にある全ての天然資源の有効活用の研究から地域の活性化へ
- 天然資源の循環的計画システムの確立
- 21世紀、持続的社会実現へのメッセージ
- 未利用資源の活用から新たな雇用の場の創生と地域活性のエネルギーに

農学、生命科学、医薬学、環境科学、繊維工学、ナノ工学、醗酵工学、
工芸、デザイン科などから学内外約30名の研究者から組織化

椿を地域文化に取り込んでいる京都



京都文化と椿との関わり

■ 椿油の伝統的な消費地

- かつらの髪型、舞台の髪的光沢

■ 伝統文化として椿

- 京都五山文化による禅宗寺院の椿

- 金閣寺、銀閣寺、竜安寺、大徳寺

- 茶道、華道による椿の利用

- 初釜と椿、生け花の椿

和菓子、工芸品、和風衣裳と椿のデザイン

干菓子、生菓子、漆器、陶磁器、扇子、下駄、着物、帯、
和風小物

観光と椿の関わり(11月中頃～4月末)

開花時期が一番長い植物の一つ

大雲山竜安寺、日本最古の侘助



裏千家、初釜に生けられる侘助



表千家、初釜に生けられる曙



鶴屋良信の椿と梅の生菓子

11月20日～2月15日まで約10種の椿のデザインの生菓子



五島地域の自然のすばらしさ

- 1. 美しい自然
 - 毎日がドラマのように変化する海流との生活
- 2. 伝統的な歴史
 - 大陸との交流窓口としての歴史
- 3. 自然環境から育まれた豊富な食材
 - 四季折々の海産物、周年栽培が可能な野菜類
- 4. 屈託のない明るい性格

徳島県上勝町で学び、 実践した理想的な長寿社会(1)

- 高齢者は保守的ではない
- 創造性や好奇心の豊かさは年齢ではない
- 大胆さは、男女の差は存在しない
- 目先に見える金銭的な欲望は、男性より女性が強い
- 競争意識は年齢や男女に関係ない
- 新たな欲望は、身体的年齢を超越し若返る
- 高齢化社会に必要な施設は介護施設よりも仕事への支援施設である

上勝町から学んだ 地域活性化に欠かせない条件(2)

- 収益が日々見える、

毎日又は週間で継続する仕事

単純作業よりも、少し工夫が必用な作業に熱中される

仕事を複合的に組み合わせると経済的効果が高くなる

高齢者は合理的で体験的に理論的理解が早い、
地域の活性化は高齢力の生かし方で決まる

上勝町「彩り野菜」から生まれた地域文化とその効果

■ ゴミゼロ運動の実践

ゴミの36分類と地域からゴミを出さない運動
共に助け合い、地域的美観を維持する活動

■ 直接的効果

介護、医療、ゴミ処理などの財政負担の軽減
人口減少への歯止め

■ 間接的効果

観光客の増加、視察の増加、町民意識の向上

地域的美観文化の定着

椿を活用し健康長寿の実践

- **椿の高付加価値商品の開発**
- 苗、盆栽のビジネス
- 切り花、食品としての花ビジネス
- 葉の医薬的活用、葉の彩りビジネス
- 実や実の殻のビジネス
- 椿油、新たな食品素材ビジネス
- **芸術と工芸品ビジネス**
- **加工食品など椿のデザインビジネス**
- **観光ビジネスとドラマや音楽などストーリーの演出**

地域の活性化は、地域の高齢者が元気で経済的に自立していること

- 椿に関連し、年間を通し活動できる商品の開発
椿と共に複合的な経営が可能な品目の開発
椿商品の相乗効果として利用できる商品の開発
食品、化粧品、健康食品

新たな地域特産や意識改革が地域の活性化に結びつく

五島市の高齢者の問題点

- 高齢化人口 13、429人に対して
- 要介護人口が比較的多い
- 認知症疾患も比較的多い、
- 長崎県の平均寿命は男性37番目、女性22番目
- 生活習慣病の見直し、
- ガン、糖尿病、心疾患、脳血管疾患等、
五島地域の高齢者の症例から原因の解析

長崎県のプレゼン商品の課題

東京のFOODEX,大阪の食品イベントを見て

- 長崎の特長の表現方法
- 品質、品格の表現方法
- 包装単位、形状の見直し
- 消費の視点から見る商品の構成
- 原料販売の時代から末端商品の製造販売の時代への転換
- 情報の発信とITビジネスの徹底した活用

椿を利用した“地域活性化”

日本海の対馬海流(暖流)流域をつなぐ

京都から日本海各地へ 椿文化を発信する

- 概要**
- 全国の日本海海岸には椿の名所がある
 - 南は2月から北は5月まで開花時期が連続する
 - “椿”をテーマに、アートや商品開発、イベントなど、全国をつなぐ地域活性化を行う

未利用資源 ▶ 数100種に及ぶ椿

日本海の椿の名所



ヤブ椿の生命力を 五島の新たな文化の原動力に

- ヤブ椿は、対馬暖流を利用し既に1000年以上前から日本各地にネットワークを結んでいる。
- 五島の人々に求められている課題は!!